

植木無窮略系図

(生没名師弟)

〔参考文献〕 柏崎文庫、柏崎市史、北越詩話、柏崎人物誌

三左衛門重次郎

植木日清

一八〇五 七九歳で没。

妙行寺仏門に入り日清という。

植木氏は下田尻より出て下町（東本町一）に住す、荒物・薬種業の名家。

養子・三左衛門を継ぐ

椒園

一八〇三、父日清に先つて死。

子駿、名は遷明、字は元恵・子串、号椒園。

加納の寺沢石城に漢学を学ぶ。学友に山田柏台、今井龍門、藍澤北溟。

三左衛門儀與八・椒園後を継ぐ。

無窮

一七七〇〜一八三八、六九歳で没。

名を恵、字は中寧、子字は儀與八、通称三左衛門、号椿斎、無窮、新好斎。

- ・加納の寺沢石城に学び、江戸に出て大田綿城に学ぶ。帰柏して、義兄椒園の家業を継ぐ。
- ・詩友に山田柏台（正則）、原松洲。

新三郎

養子・無窮隠居後三左衛門を継ぐ。

趙後植本仲宇著

新好齋詩集初編

吉野水云堂

62002

吉野水云堂
新好齋詩集初編
趙後植本仲宇著

文化九年歲次壬申二月甲子吉野備員加賀大津元
島才佐文序

新好齋詩集初編
趙後植本仲宇著

早春書懷

亂巾蕭蕭二毛應詩酒有鄉思市塵漫然曾受天恩賢
品養性難性成身吟遊到萬梅萬生開疑隔時愛老舊
歷不須愁感思滿卷或香蒙太守民

春日

三遊寺寺前可憐一處紅文伴幽居輕風時莫吹兒女
情鳥聲啼夢水園

新好齋詩集初編
趙後植本仲宇著
吉野水云堂